

科目名	オブジェクト指向言語I	英文表記	Object Oriented Programming Language I	平成24年3月28日		
科目コード	4314					
教員名：石渡 俊介、知名 朝恒 技術職員名：				作成		
対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
メディア情報工学科	4年	選択	学修	2単位	講義	後期
科目目標	Java言語の文法を理解、習得し、Java言語のクラスライブラリの使用方法を理解、習得する。オブジェクト指向の基礎概念を理解、習得することを目標とする。					
総合評価	定期試験(中間・期末)の平均点 70%、演習やレポートなどの課題及び PBL における発表や貢献度等 30%の割合で総合的に評価する。60%以上を合格とする。					
達成度目標と評価方法	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法		
	①	Java言語の文法を理解し、クラスライブラリの使用方法を理解することができる。(A-3)	⇒	正しく説明できるか定期試験および講義での小テストで評価する。		
	②	オブジェクト指向の基礎概念を理解することができる。(A-3)	⇒	正しく説明できるか定期試験およびPBLで評価する		
	③		⇒			
			⇒			
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	メディア情報工学
	◎	○	○		JABEEプログラム教育目標	A-3
授業概要、方針、履修上の注意	本授業では、オブジェクト指向言語であるJava言語を学びます。基本的な文法だけではなく、継承・カプセル化・ポリモーフィズム等のオブジェクト指向を学びます。演習では講義内容に応じたプログラミング課題に取り組みます。					
教科書・教材	自作教材					
授 業 計 画						
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容			自学自習(予習・復習)内容
1	ガイダンスと開発環境整備	2	授業内容の説明と Java 開発環境の整備を行う			開発環境
2	Java 言語文法 (1)	2	変数、データ型、演算子について学ぶ			演算子
3	Java 言語文法 (2)	2	条件分岐、繰り返し制御、配列について学ぶ			制御構造
4	Java 言語文法 (3)	2	メソッドのシグネチャ、オーバーロードについて学ぶ			メソッド
5	クラスとインスタンス	2	クラスとインスタンス、コンストラクタについて学ぶ			クラス
6	例外処理とパッケージ	2	try-catch、throw、パッケージについて学ぶ			例外処理
7	クラスパス	2	クラスパスについて学ぶ (※後半は中間試験)			
8	継承 (1)	2	メソッドのオーバーライドについて学ぶ			オーバーライド
9	継承 (2)	2	継承とコンストラクタについて学ぶ			継承
10	ポリモーフィズム (1)	2	インターフェースの定義、利用法について学ぶ			インターフェース

11	ポリモーフィズム (2)	2	抽象クラスの定義、利用法について学ぶ	抽象クラス
12	Collection フレームワーク	2	List、Set、Mapの利用法について学ぶ	Collection
13	PBL (1)	2	オブジェクト指向を意識した対話型のプログラミングを、 チームで作成する	-
14	PBL (2)	2		-
15	PBL (3)	2		-
期末	期末試験	[2]		
16		2		
17		2		
18		2		
19		2		
20		2		
21		2		
22		2		
23		2		
24		2		
25		2		
26		2		
27		2		
28		2		
29		2		
30		2		
期末	期末試験	[2]		
学習時間合計		60	実時間	45
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)
①	レポート(その週の講義内容に沿った内容についてレポートを課す。)			各2時間×30回
②	12回目の講義後にレポート(PBL)を課す。			5時間
③				
備考欄				
<ul style="list-style-type: none"> ・ この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。 ・ この科目の主たる関連科目はプログラミングⅠ(本科1年)、プログラミングⅡ(本科2年)、アルゴリズムとデータ構造(本科4年)である。 その他必要事項は各コースで決める。				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)